

みずほCustomer Desk Report 2017/06/15 号(As of 2017/06/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	110.07
	GBP/USD	AUD/USD				
TKY 9:00AM	110.07	1.1210	123.37	0.9686	1.2749	0.7536
SYD-NY High	110.34	1.1296	123.63	0.9735	1.2820	0.7636
SYD-NY Low	108.81	1.1193	122.78	0.9641	1.2724	0.7533
NY 5:00 PM	109.53	1.1218	122.92	0.9714	1.2751	0.7588
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.585/8.035	△25RR	1.008	Yen Call Over		

NY DOW	21,374.56	46.09	債券市場	日本2年債	-0.1080	▲0.8bp
NASDAQ	6,194.89	▲25.48		日本10年債	0.0700	0.6bp
S&P	2,437.92	▲2.43		米国2年債	1.3310	▲3.2bp
日経平均	19,883.52	▲15.23		米国5年債	1.7153	▲6.6bp
TOPIX	1,591.77	▲1.74		米国10年債	2.1256	▲8.5bp
シカゴ日経先物	19,900.00	▲60.00		独10年債	0.2260	▲4.0bp
ロンドンFT	7,474.40	▲26.04		英10年債	0.9270	▲10.6bp
DAX	12,805.95	40.97		豪10年債	2.4020	0.4bp
ハンセン指数	25,875.90	23.80	為替市況	USD/CNH	6.7860	▲0.0023
上海総合	3,130.67	▲23.07		ドルインデックス	96.94	▲0.04
USDJPY 3M Vol	8.07	0.12%	商品市況	CRB指数	173.024	▲2.81
USDJPY 6M Vol	8.87	0.23%		NY金	1,275.90	7.30
EURJPY 3M Vol	8.24	▲0.05%		WTI	44.73	▲1.73
EURJPY 6M Vol	9.13	0.07%		Dubai Spot	46.94	▲0.28

東京	東京時間のドル円は110.07レベルでオープン。日経平均株価が前日比ほぼ同水準で寄り付く中、ドル円は110.10近辺で小動き。その後、中国から5月小売売上高/鉱工業生産/固定資産投資(実績:10.7%/6.5%/8.6%)が発表されるも、強弱ミックスの内容にマーケットの反応は限定的。午後にかけて、海外時間にFOMCを控える中で動意に乏しい展開が続き、110円台前半で揉み合った後、110.02レベルで海外時間に渡った。一方、ユーロは1.1210レベルで東京時間オープン。1.12台では底堅く推移し、小幅ながらも徐々に上昇する展開。東京時間引けにかけて、独5月CPI・確報値(前年比)が発表され、市場予想通りの結果(実績:1.5%・予想:1.5%)にマーケットへの影響は限定的。結局1.1200レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円台前半で底堅く推移。朝方は110.02レベルでオープン。欧州株がオープンから堅調に推移し、加元も底堅く推移する中でドル円もつれ高となり、110.29レベルでNYへ渡った。ポンドドルはロンドン時間オープン前に特段材料が見られない中で1.27台前半から後半まで上昇し、1.2785レベルでオープン。英4月雇用統計の中で、労働賃金の伸びの弱さが嫌気され、急上昇前の水準1.27台前半まで反落。その後も上値の重たい展開が続き、1.2729レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルコ 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	海外時間のドル円は、堅調な欧州株式市場を背景に110円台前半で底堅く推移し、110.29レベルでNYオープン。朝方発表された米5月消費者物価指数、米5月小売売上高が予想を下回ったことから、米長期金利が年初来となる水準まで低下する動き等を受けてドル円は109.22まで急落。また、WTI原油が大幅下落する動きも相俟って、ドル円は直近安値109.12を下抜け、ストップを巻き込みながら108.93まで下落。午後2時に発表されたFOMCでは、政策金利は予想通り25bp引き上げられ1.00-1.25%となったが、同時に発表された経済予測で2017年のインフレが見通しが大幅に下方修正されたことに反応し、瞬時安値108.81まで急落した。しかし、朝方のインフレ指標を受け、ハ派な内容への期待が過度に強まっていた中、声明文で年内にバランスシート正常化を開始することが発表されたほか、同時に公表されたガイラインで具体策が明らかになったことを受け、米金利と共にドル円は109.86まで反発。調整一巡後は、再び米金利低下・ドル下落の流れに戻り、109.53でクローズした。なお、政策金利見通し(ドットチャート)では、2017年の利上げ回数は3回と前回から変化はなかった。一方ユーロドルは1.1202レベルでNYオープン。朝方は弱い米経済指標を受けてドル売りが強まったことから1.1296まで上昇。しかし午後はFOMC後のドル買い戻しの流れを受け、1.1193まで反落し、1.1218レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:田中・岡本

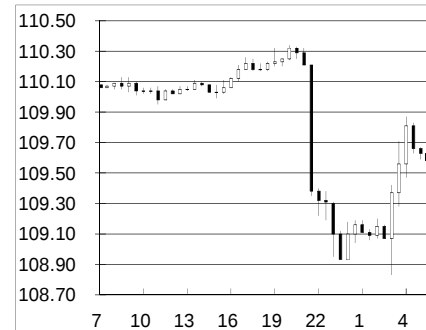
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月14日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(前年比)	5月 10.7%/8.6%/6.5%	10.7%/8.8%/6.4%
	15:00	独 消費者物価指数・確報(前年比)	5月 -0.2%/1.5%	-0.2%/1.5%
	17:30	英 ILO失業率	4月 4.6%	4.6%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.5%/1.4%	0.5%/1.4%
	21:30	米 消費者物価指数(前月比/前年比)	5月 -0.1%/1.9%	0.0%/2.0%
	21:30	米 消費者物価指数・コア(前月比/前年比)	5月 0.1%/1.7%	0.2%/1.9%
	21:30	米 小売売上高/除(自動車(前月比)	5月 -0.3%/-0.3%	0.0%/0.1%
6月15日	3:00	米 FOMC政策金利発表	-	1.00-1.25%
	3:30	米 イエレンFRB議長会見	-	-

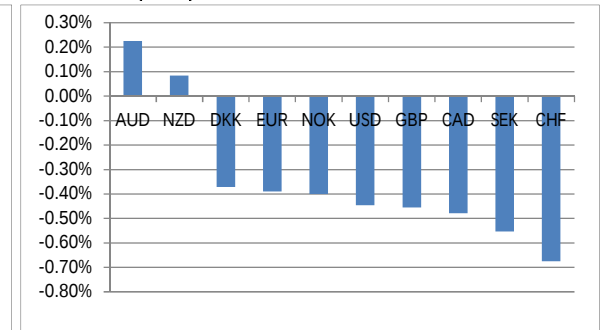
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月15日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	5月 10.0K/5.7%	37.4K/5.7%
	17:30	英 小売売上高・除(自動車燃料(前月比/前年比)	5月 -1.0%/1.9%	2.0%/4.5%
	20:00	英 BOE政策金利発表	-	0.25%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景況感指数	6月 5.0	-1.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	241K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況感指数	6月 24.9	38.8
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.2%	1.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.80	1.1180-1.1240	121.80-123.20

【マーケットインプレッション】

昨日米5月消費者物価指数の弱さを受けてドル円は110円を明確に割り込み、一時108円台を示現した。FOMCにおいても2017年のインフレ見通しが引き下げられる等、米物価が上昇してこない現状が改めて浮き彫りとなった格好、これらを背景に、本日についても昨日の流れを引き継ぎ形で、ドル円は上値重く推移しよう。本日もいくつか米経済指標が発表となるが、ネガティブな結果には反応しやすい環境であり、下方リスクを注意したい。